

## 第27回 吉野町地域公共交通協議会 議事録(要旨)

■日時： 令和元年年6月17日(月) 午前10時30分～午前11時15分

■場所： 吉野町中央公民館2階 第1・2研修室

■出席者：

| 所属・役職                    | 氏名    | 備考  |
|--------------------------|-------|-----|
| 吉野町 副町長                  | 和田 圭史 | 会長  |
| 近畿運輸局奈良運輸支局 運輸企画専門官      | 小西 聡  |     |
| 奈良県吉野土木事務所 計画調整課長        | 大石 浩史 |     |
| 奈良県吉野警察署 交通係長            | 森口 大輔 |     |
| 奈良県県土マネジメント部 地域交通課 係長    | ご欠席   |     |
| 吉野町区長連合会 会長              | ご欠席   |     |
| 吉野町老人クラブ連合会 会長           | ご欠席   |     |
| 一般社団法人吉野ビジターズビューロー 代表理事  | 東 利明  |     |
| 社会福祉法人 吉野町社会福祉協議会 常務理事   | ご欠席   |     |
| 奈良県交通運輸産業労働組合協議会 事務局長    | 霜永 勝一 |     |
| 公益社団法人 奈良県バス協会 専務理事      | 井上 景之 |     |
| 一般社団法人 奈良県タクシー協会 専務理事    | 葛城 滝男 |     |
| 奈良交通株式会社 運行サポートセンター長     | 志茂 敦史 |     |
| 奈良交通株式会社 吉野支社助役          | 七尾 和善 |     |
| 宮滝タクシー 代表                | 梶谷 展安 |     |
| 奈良近鉄タクシー株式会社 吉野営業所長      | 小西 利治 |     |
| 近畿日本鉄道株式会社 下市口駅長         | 荒木 優二 |     |
| 吉野大峯ケーブル自動車株式会社          | ご欠席   |     |
| 吉野町教育委員会 事務局長補佐          | 門西 克将 |     |
| 岸野都市交通計画コンサルタント(株) 代表取締役 | 岸野 啓一 |     |
| 吉野町 総合政策課 参事             | 上林 勝則 | 事務局 |
| 吉野町 総合政策課 課長             | 吉村 直樹 | 事務局 |
| 吉野町 総合政策課 主査             | 八釣 直己 | 事務局 |

■配布資料：

- ・第27回吉野町地域公共交通協議会 次第
- ・第27回吉野町地域公共交通協議会出席者 名簿
- ・吉野町地域公共交通協議会委員の変更について(案) (資料1)
- ・平成30年度・スマイルバスの利用実績について (資料2)
- ・スマイルバス運行計画の見直しについて(案) (資料3)
- ・吉野町生活交通確保維持改善計画 (案) (資料4)
- ・吉野町地域公共交通網形成計画について(資料5)
- ・五條市公共交通網形成計画 (参考資料)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 委員紹介

会長の互選について、引き続き和田副町長が会長として出席委員全員異議なく承認される。

4. 議題

【1】吉野町地域公共交通協議会委員の変更について

- ・(資料1に基づき事務局説明)
- ・協議会の役割等について説明。
- ・出席委員全員異議なく承認される。

【2】平成30年スマイルバスの利用実績について

- ・(資料2に基づき事務局説明)

【3】スマイルバス運行計画の見直し(案)について

- ・(資料3に基づき事務局説明)

出席委員全員異議なく承認される。

議長：ダイヤ等の調整については、運行事業者と、許認可については、運輸支局、道路管理者、公安委員会と協議の上、スムーズに実施できるようお願いします。

【4】吉野町生活交通確保維持改善計画(案)について

- ・(資料4に基づき事務局説明)
- ・質疑等

・本町では、地域公共交通確保維持改善事業費補助金のフィーダー系統確保維持費国庫補助金を活用させていただいており、資料の路線系統図をご覧くださいますと、赤色及び紺色で示した大和上市駅に接続する路線系統をフィーダー系統として補助申請する予定でございます。ただし、今年度の申請におきましては、補助対象経費の算定方法の見直しがあり、要綱、要領の改正により上限額等も決められるわけですが、現時点で確定した通知がありませんので、具体的な数字等は出ておりません。別に細かな数字を入れた表を付けるのが本位ですが、これから作成する予定です。数字等の修正があった場合につきましては、事務局と運輸支局で調整させていただくこととして、この場のご審議を持って、ご承認を賜りたいと思っております。大きな変更がある場合は、書面協議等でご意見をいただきたく思いますので、ご審議のほど、よろしく願いいたします。

委員：2ページの「引きこもり」という言葉に言及したいのですが、これはこういった意図で記載されているのでしょうか。

事務局：こちらにつきましては、近年高齢者の事故が増える中、免許返納される方も増える中で、高齢者の外出支援ということを目的として、吉野警察様と連携しながら、スマイルバスの回数券を配布しております。また、別の事業ですが、タクシー乗車賃補助券の配布も行い、高齢者が外出するきっかけとなるように施策を行っています。

ただし、「引きこもり」という文言が正しいかどうかは、事務局で再度検討させていただければと思います。

議長：意図や目的はわかりましたが、文言については、再度提出日までに検討するというところでよろしいでしょうか。

・異議なく承認される。

議長：国交省のほうから地域の公共交通の確保維持、利便性の向上等の取り組みへの支援という事業で、その事業の補助を受けるということの計画です。現時点で要綱、要領の改正があるということで、具体的な上限額も決められていないので、今後数字等の修正が生じるということで、この案についてご意見はありませんか。

吉野町生活交通確保維持改善計画について、申請までに修正等があるかもしれませんが、その点についてご同意いただき、補助金申請することにご承認いただけますでしょうか。

・出席委員全員異議なく承認される。

### 【5】吉野町地域公共交通網形成計画について

(資料5に基づき事務局説明)

・少子高齢化や公共交通の持続的継続について、コンパクトシティ、観光、福祉、教育など、面的な公共交通網の在り方を決めるものです。

今年度での策定になり、住民アンケート調査、パブリックコメントの実施を経て、この協議会で最終案を国土交通大臣に認定していただき、おおむね5年間の計画となります。

毎年、PDCA サイクルで事業評価を行っていく予定です。

委員：いま、観光という言葉が出ましたが、今後関西ワールドマスターズゲームや国栖地区、吉野山地区と周遊できる移動手段の確保が必要になってきます。外国人来訪者も増加する中、インバウンド対応や周遊性を高めることを、この計画や今後の施策展開をぜひ検討指定いただきたいと思います。

事務局：ありがとうございます。吉野町や広域的な公共交通を考えていく中で、特に観光面での検討は必要です。国交省の考え方も年々変わってきており、この計画についても、やはり観光面も考慮しなければならないということで、明言されています。そういったことも踏まえご意見を頂戴しながら計画に盛り込んで参りたいと考えておりますので宜しくお願い致します。

議長：議事につきましては以上となりますが、委員の皆様方からのその他、ご質問、ご意見等ございませんでしょうか。

### 3. その他

奈良運輸支局：まず、このスマイルバスについて、利用者が人口が減っている中で一人当たりの利用者数が増えているということは、高齢者の方の利用が増えているのかなと思います。周知など取り組みを継続していただければと思います。

また、地区からの要望を今後どう捉えていくかということで、一定の審議も必要かと思えます。既存交通との役割分担を要望のあった地域に説明がつかなくなるので、そのあたりの説明は事務局にお願いします。

前の協議会でもお話させていただきましたが、いま交通事業者の人材不足が問題となっています。大和郡山市さんや五條市さんなどは、広報誌でバスやタクシーのドライバー募集の掲載を行っています。そういうことも今後検討して頂ければと思います。  
交通網形成計画を策定いただけるということで、よろしく願いいたします。

#### 4. 閉会

議長：委員の皆様、たいへん熱心なご審議ありがとうございました。  
これをもちまして第27回吉野町地域公共交通協議会を閉会させていただきます。長時間にわたり、ご論議、ご検討まことにありがとうございました。今後とも、当協議会へのご協力をお願いします。本日は、ありがとうございました。